

## 未来の名馬発掘！

7月28日（火）、九州軽種馬協会（大崎町野方）で『九州1歳市場サラブレッド1歳馬せり市』が行われ、21頭が出品されました。同協会の吉田政人事務局長によると、「以前に比べて出品数が半分ほどになっています。大崎町には競走馬のふるさとにふさわしい豊かな環境が整っているので、もっとPRを行い活性化させていきたいです。」と話されました。

今回の最高価格は3,564,000円（税込）で、総売上額は19,440,000円（前年度比51.9%増）でした。

【九州軽種馬協会】

大崎町野方 3995 番地 ☎ 099-478-3015



写真提供：九州軽種馬協会

▲最高価格で落札された1歳馬

## 社会教育講座！『町政あれこれ』



▲町政について学ばれました

7月29日（水）、中央公民館において、社会教育講座のいきいき実年大学・大崎いきいき講座・野方いきいき講座の合同講座が開催されました。この講座は、町内在住でおおむね60歳以上の方なら誰でも参加できるもので、健康教室やグラウンドゴルフ・研修視察などを自分たちで計画し活動しています。

今回は、東町長を迎え『町政あれこれ』をテーマに、まちの出来事や財政のこと、ふるさと納税や新しく始まる『マイナンバー制度』などについて話を聞き、まちの取り組みについて学ばれました。

## 職員一同『人権』について学びます！

8月3日（月）、職員研修の一環である『人権同和問題研修会』が町中央公民館で行われました。県人権同和対策課の鎌田豊作先生を講師を迎え、同和問題や障がい者の人権を中心に話されました。

参加した職員は、「今もなお、就職や結婚をする際に不当な差別が行われ、自由な選択ができない現状があることに衝撃を受けました。このような問題が残っていることを十分に理解し、みな平等に生きる権利を持っていることを強く、若い世代の人たちに伝えていかなければならない。」と感想を述べていました。



▲午前・午後を合わせ 134名の職員が参加しました